

「CASA GIFUⅢ」で展示する陶磁器商品を募集します！

県では、海外における地場産品のブランド力を高めることにより、海外販路の拡大につなげることを目的として、世界的に活躍する海外の著名デザイン事務所であるアトリエ・オイ社と連携し、平成30年4月にイタリア・ミラノで開催される「ミラノ・サローネ国際家具見本市」に岐阜県ギャラリー「CASA GIFUⅢ」を出展する予定です。

そこで、岐阜県ギャラリーに展示する陶磁器商品の公募を実施いたしますので、商品の展示を希望される方は、**11/17(金)までに**別紙「展示商品エントリーシート」を下記担当者まで、E-mailによりご提出ください。

<申込み・問い合わせ先> 岐阜県商工労働部 海外戦略推進課 海外展開係 池戸、市川

Tel 058-272-8090 Fax 058-278-2674 e-mail c11336@pref.gifu.lg.jp

記

1. 募集期間

平成29年11月1日(水)～平成29年11月17日(金)

2. 提出書類

別紙「展示商品エントリーシート」

※ 1事業者当たりの応募商品の上限は原則5品目以内とします。

3. 応募条件

- (1) 岐阜県内に事業所があり、海外企業との取引に意欲的な陶磁器関連事業者であること
- (2) 展示後も、展示品の海外販売のための対応が可能な陶磁器関連事業者であること(商社・ディストリビューターを通じた取引等も含む)

4. 展示会場

ミラノ市内中心部で最も注目を集めるBrera地区のギャラリーを想定。

なお、展示の全体レイアウトは、県と協議の上、アトリエ・オイにより行われます。

5. 展示商品の選考方法

「ミラノ・サローネ国際家具見本市」の岐阜県ギャラリーで展示する商品の選考を行います。展示品は、アトリエ・オイ社が一次選考として書類審査し、平成29年12月上旬頃、実際にアトリエ・オイ社に商品を見ていただいた上で決定します。(書類審査を通過した事業者様には、12月上旬に選考会会場まで商品を送付していただきます。) 展示作品は、10点前後となる予定です。

6. 注意事項

展示会に出展する商品については、展示会終了後もお返しすることができませんので、あらかじめご了承ください。

<想定スケジュール>

平成29年11月

平成29年12月中旬

平成30年2～3月

平成30年4月

展示会参加事業者、展示商品の募集、書類選考の実施

展示会への展示商品の決定

「ミラノ・サローネ国際家具見本市」展示に係る諸調整、展示品の海外発送

「ミラノ・サローネ国際家具見本市」への出展

(直接、現地へ渡航して商品をPRいただくことも可能です。渡航費、現地宿泊費等に関する一切の費用は自己負担となります。)

【参考】

1. 「ミラノ・サローネ国際家具見本市」について

会場：ローフィエラ ミラノ（イタリア）

開催期間：平成30年4月17日（火）～22日（日）

入場者：約30万人（平成29年実績）

概要：家具やインテリアデザインにおける世界最大規模の国際見本市と、ミラノ市街各所で行われるメーカーやデザイナーの展示会や展覧会等をあわせてミラノ・サローネ（MILANO ISALON）と呼ばれる。ヨーロッパ中のメーカーやデザイナーが一同に会し、その年のデザイン・トレンドがいち早く発信され、世界中から約30万人が訪れるインテリアデザイン界で最もエキサイティングな一週間と言われる。有名デザイナー等が同期間に、市内中心部のギャラリーを貸し切って展示・開催する「フォーリ・サローネ」が注目されるなど、近年はパリで開催されるメゾン・エ・オブジェよりも県内企業からの出展希望が多くなっている。

【平成28年4月、平成29年4月出展岐阜県ギャラリーの様子】



2. アトリエ・オイ社/パトリック・レイモン氏 プロフィール

スイスのラ・ヌーヴヴィルにおいて1991年に創設されたデザイン会社 atelier oi（アトリエ・オイ）の3名の創設者の1人。スイス建築協会（FAS）とスイス建築家デザイナーズ協会（VSI/ASAI）のメンバーとして活躍している建築家およびデザイナー。

1991年の創立から20年以上、建築、デザイン、インテリアデザイン、舞台美術等、ジャンルを超え多岐にわたった芸術的活動は国際的にも認められ、Louis Vuitton、Victorinox、Bulgari 等との取引がある。

日本においては、建築家の坂茂氏との共同事業で銀座のニコラス・G・ハイエクセンター（スウ Bunkamura ギャラリー）でのヴィクトリノックス展覧会のシノグラフィーを手がけ、2015年1月には東京オペラシティで開催されたスイスデザイン展にてオイ社の作品も出展。

岐阜県内企業と連携して取り組んできた新商品開発の商品発表の場としては、2016年4月と2017年4月にミラノ・サローネ「CASA GIFU」、「CASA GIFU II」を手掛けた。そして、現在も更なる商品開発に向けて、岐阜県内企業と新しいモノづくりを進めている。

【アトリエ・オイ】

【連携しているモノづくり企業】



©Joël von Allmen



©atelier oi

（左より）アルマン・ルイ
オーレル・エビ
パトリック・レイモン

（左より）FUSION（和紙あかり） 【オゼキ】
MINOSHI GARDEN（和紙モビール）【紙ING】
Gifoi collection（木工家具） 【飛騨産業】
Honsekito（日本刀） 【第二十六代藤原兼房・長谷川刃物】